

富士見地区



【地区の自然環境概要】

富士見地区は、川及び街の要素を持つ地区です。

全域にわたり住宅地が広がり、市街地や住宅地を好む動植物の生育・生息の場となっています。

西側は酒匂川に面しており、河川や河川敷などの水辺環境を好む動植物の生育・生息の場となっています。



【地区で見られる動植物】

市街地の中にある緑は動植物にとっての大切な生育・生息の場です。また、近接する水辺環境を利用する動植物も見られます。

- ツバメやスズメ、シジュウカラ等の鳥類など、市街地から里地里山でよく見られる身近な種が確認されています。¹
- 西部は酒匂川に接しており、カワセミやタシギ、ホオジロ等の水辺環境を利用する鳥類が確認されています。また、市の鳥であるコアジサシ（絶滅危惧種）などの希少な鳥類も確認されています。²



スズメ



シジュウカラ



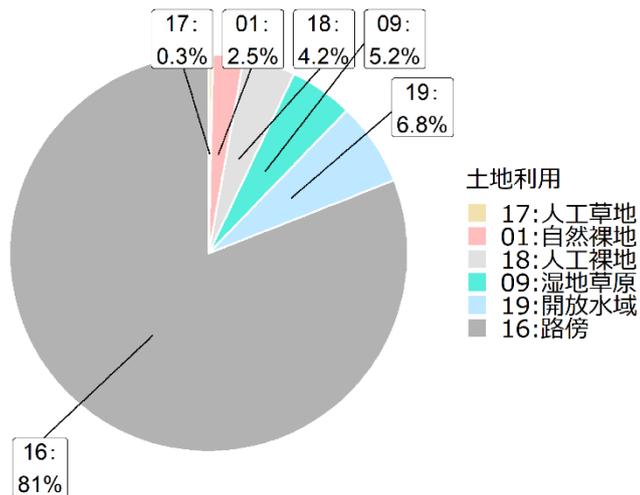
ホオジロ

- 植生図をもとに作成された土地利用を見ると、路傍及び人工裸地で約 9 割と広範囲を占めます。酒匂川周辺は、開放水域や湿地草原、自然裸地、人工草地などの水辺環境が見られ、土地利用の約 1.5 割を占めています。³

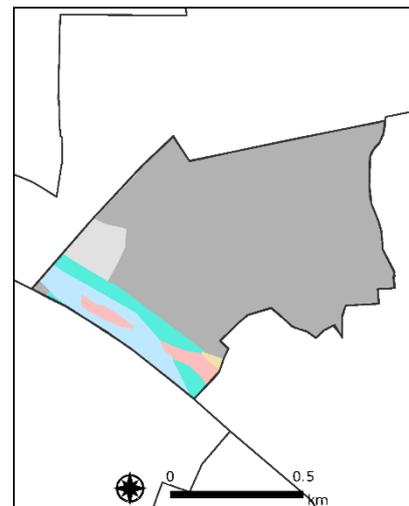
¹ 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

² 参考：平成 29 年度 小田原市自然環境等現況調査委託業務 文献調査結果

³ 出典：日本全国標準土地利用メッシュデータ（国立環境研究所）



富士見地区の土地利用割合



富士見地区の土地利用

【暮らしと自然のつながり（生態系サービス）】

スポーツの場や身近にある緑など、日々の生活の中で自然環境からの恩恵を受けています。

～文化的つながり～

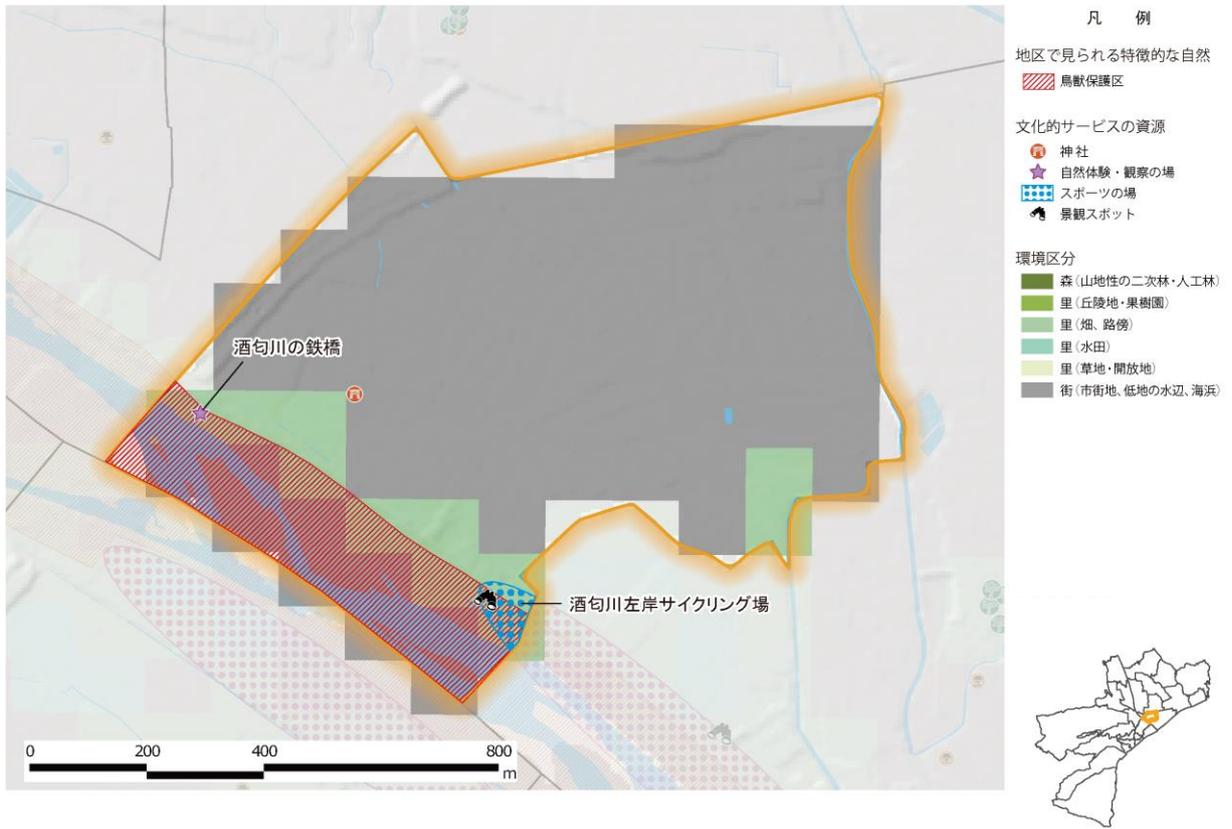
- **スポーツの場**：酒匂川河川敷は、自然の中、軽快なサイクリングを楽しむことのできる「**酒匂川左岸サイクリング場**」として活用されています。
- **神社・寺院**：「**神明神社**」があります。社寺林は、生活の身近にある緑として住環境の向上や心の安らぎに寄与します。また、一般的に神社・寺院の境内は、こどもの遊び場としても役立ってきました。
- **景観スポット**：平成6年（1994年）に開通した「**小田原大橋**」からは、富士山を含め360度に広がる雄大な景色が楽しめます。⁴

【地区で見られる特徴的な自然】

鳥獣保護区に指定されるなど、大切に守り残していきたい自然環境が存在しています。

- **鳥獣保護区**：「**酒匂川**」は、希少鳥獣生息地（環境省レッドリストまたは神奈川県レッドデータ生物調査報告書において絶滅危惧が高いランクにある鳥獣の生息地であって、これらの鳥獣の保護上必要な地域）として、鳥獣の捕獲を禁止し、その生息環境を適切に保全しようとする区域として、神奈川県鳥獣保護区に指定されています。

⁴ 出典：小田原ふるさとの原風景百選（小田原市環境部環境政策課，平成19年（2007年））をもとに作成



富士見地区の自然環境マップ